

## 10904耐火物製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	15~16	当社工場内において清掃作業時、トラックの荷台に鉄屑等をのせる作業中、足が滑り尻もちをつき、左足と腰を捻った。	65	2	416	1~9
2	2017	11	16~17	工場へ出張移動中、駅で特急列車から降車した時に左膝を痛めた。	59	19	921	500~999
3	2017	11	14~15	No.1大型研磨機にて、フロート煉瓦（903×662×305mm）の側面研磨を行っていた。スライドヘッド上の煉瓦の側面加工送り前進後、後退する際にスライドヘッドと煉瓦下の間にあったナイロンスリングロープ（1t用30mm×3m）の端が煉瓦側面より外に飛び出ていた為、引き抜こうと手を出したところ、ナイロンスリングロープが砥石回転体の中に巻き込まれ、手が持っていかれそうになった為、慌てて手を離したが、研磨機の砥石に手を叩かれ左手の中指を複雑骨折した。	31	7	153	100~299
4	2017	11	11~12	被災労働者が、当社本社工場において、ミキサーを使用して坏土の泥練作業中に、ミキサー内の掻き羽やロールタイヤに付着した紛体原料を取り除こうとして、ミキサーを完全停止させずに、ミキサー内に手を入れたため、ゴム手袋が巻き込まれ、右手示指・小指・甲等を負傷したものである。	44	7	162	10~29
5	2017	8	9~10	チッパー機のベルトカバーを取り外すとき、鉄板製カバーの上から誤って滑り落ち、左足首を骨折した。	64	1	139	10~



13	2016	6	13～ 14	階段にて試験棟2階から1階へ移動しようとしていた際、階段の上から2段目で足を踏み外し4～5段滑り落ちた。	35	1	413	50 ～ 99
14	2016	4	11～ 12	煉瓦製造におけるラインにて、稼働中のマシンの中に右手を入れ、上下するバーと固定されているフレームとの間に右腕をはさまれた。	37	7	121	30 ～ 49
15	2016	4	17～ 18	工場煉瓦プラント内乾燥炉から空の乾燥台車の排出作業をしていた。乾燥炉から次の台車の先端が炉外に出て、炉の開閉ドアが台車の上に乗り引っかかった。非常停止し手動（単動）に切り替えた。単動でドアを上げようとしたが上がりず、ドアが台車に乗った状態で台車を炉内に手で押し込もうとした時、台車が動きドアが台車から外れ下に落下し、右手をドアと炉床の間に挟まれた。	50	7	342	50 ～ 99
16	2016	3	5～6	工場構内横断歩道を歩行中に、右折してきた軽乗用車にはねられ被災した。	58	17	231	10 ～ 29
17	2015	8	15～ 16	自動成形プレスが稼働中、プレッシャーブロック摺動部（カミノリ）が取れかかっているのに気付き、ギャップ調整ボルトを締めなおそうと、プレス一時停止操作を行った。プレスが停止するのを確認しないまま、安易に可動する金枠取付ベース固定側と移動側の間に右足を掛けボルトを締めていたが動き出した金枠取付ベースに挟まれ被災した。	28	7	154	100 ～ 299
18	2015	6	14～ 15	フレコンバック入りの原料をホッパー投入口に投入作業を開始。フレコンバックの下部を体をしゃがめた姿勢でカマで切ろうとした。なかなか切れないので力を入れてカマを手前に引いたところ勢いあまって、カマの柄の部分がメガネに当たった為メガネのレンズが割れ、その破片が目に入り左眼を負傷した。	58	8	364	50 ～ 99
				ローラーコンベアで流れてくるパネルトレイの治具を取り外す作業中、本来はパネルトレイがコンベアの末端部で止まった状態で				100

19	2015	6	2～3	治具を取り外すべきところ、移動途中から治具を取り外そうとしたため、移動してきたトレイとコンベア末端部の間に左手薬指先端を挟み、負傷した。	28	7	224	～ 299
20	2015	4	10～ 11	工場内の溝の中でベルトコンベア点検終了後、身体の向きを変えようとして左膝内側をひねった。	54	19	921	10 ～ 29
21	2014	10	13～ 14	工場内において、レンガ製造の仕上げ工程で作業台の上で成形研削から生じる破片粉等を吸引する吸塵口の調整版の隙間穴を埋めるためにテープを巻き付ける作業を終えて作業台から下に降りる際、先に作業台に乗る時に使用した一斗缶の上に足を乗せたところ踏み外して転倒、治具に右腕を強打し骨折した。	65	2	379	10 ～ 29
22	2014	9	13～ 14	工場内の耐火物を製造する3号ミキサーラインにて、被災者は移動台車に積載した配合缶にタンクから原料を切りだし秤量する作業に従事していた。被災者は次の秤量のため台車移動スイッチを押した後、何らかの理由で移動方向の下段足場に右足を置き、上段足場と移動先にあった柱の切欠き部との間に右足をはさまれ右下腿筋を断裂した。	38	7	229	10 ～ 29
23	2014	8	15～ 16	電気炉施工中、全体の状況写真を撮るために電気炉の頂部へ上がろうとしたが適当な足場がなかった。そのため電気炉の壁の凹凸を足場としてよじ登ろうとし、その途中体制を変えようとして無理に右膝を捻ったところ靭帯を負傷した。	50	19	341	50 ～ 99
24	2014	8	14～ 15	不定形作業場の混錬作業において配合を次工程へ排出したあと、前部の扉を閉め排出ゲートを閉める際、ゲートと底板の配合付着及びシリンダセンサーの感度以上によりゲートが完全に閉まらなかった。ゲートの空き具合を指で確認するため隙間から指を入れ回転していた混錬羽根に巻き込まれたと思われる。	32	7	162	100 ～ 299
25	2014	7	8～9	台車加工機・集塵ダクトの穴開きの応急補修を行おうと、加工機設備を足場にしてダクトまで登った際、降りようとして加工機設	61	2	411	10 ～

				備に足を掛けたところ足を滑らせ転倒した。				29
26	2014	7	14～ 15	梱包作業に於いて、原綿ロールを台車に積み込む際、右腕上腕部の筋を痛めた。	40	19	921	50 ～ 99
27	2014	6	10～ 11	不定形耐火物製造プラントのタンクでスクリーフィダーを稼働し、原料切り替えを行っていた。駆動しているチェーンの隙間（120mm）からスクリー箇所のでれた原料を真空掃除機で掃除中に、チェーンが掃除機のノズルと接触し、その衝撃でチェーンが躍った反動で、右手もチェーンに巻き込まれ右手を負傷した。	26	7	121	50 ～ 99
28	2014	4	17～ 18	機動中のベルトコンベアーについた土を、金属製の棒と手を突っ込み、巻き込まれ、左手の指を切断した。	60	7	224	30 ～ 49
29	2014	3	14～ 15	耐火レンガの製造工場で、不定形耐火物を鑄込中、エアースリンダーを使用して、レンガと金棒を押さえ付けて固定しているが、そのエアースリンダーと金物の間に左手中指を挟まれて被災した。	35	7	169	50 ～ 99
30	2014	3	18～ 19	破碎工場のゴミ取り作業中、磁選機ベルト内の磁石に付着した鉄筋を発見し、稼働中にも関わらず鉄筋を除去しようとツル棒をベルトと磁石の隙間に差し込んだところ、ベルトの回転にツル棒が巻かれ棒を持つ右手を架台の支柱に激しくぶつけ損傷した。	47	7	224	10 ～ 29
31	2014	1	3～4	製品を焼成するトンネルキルンのトラブル発生表示が出たため、工場内のトンネルキルン制御室からトンネルキルンに向かっていったところ、体の進行方向を変えようとして足が滑り左足首を捻って被災した。	63	19	417	100 ～ 299
32	2013	11	9～ 10	トラバースを後退させながら通路内を移動していたところ、通路内にあった原料(珪藻土)に足を滑らせ、転倒し、臀部をコンク	60	2	417	10 ～

				リート床に打った。				29
33	2013	9	11～ 12	半自動溶接ロボットにロングノズル（長さ1400mm、重さ71.5kg）をセットした際、治具がうまくはまらず、セットをし直そうと手を添えたところ、引っ掛かっていたストッパーが入り、手中指を挟まれた。	33	7	169	100 ～ 299
34	2013	9	9～ 10	モルタル原料袋詰め作業中、原料排出用のスクリー部を清掃する際、スクリー内部の残り原料を手で掻き出そうとしたところ、手がスクリーに巻込まれ、手中指骨折、人差指裂傷を負った。	60	7	169	100 ～ 299
35	2013	8	16～ 17	原付バイクで退場する際、駐車場出口より20m手前付近にて、路面の敷きレンガが一部剥がれ、前輪とバイクの本体の間に挟まり、転倒した。	38	2	231	50 ～ 99
36	2013	7	14～ 15	倉庫内整理の為、デッキ上に梯子で上がり、足場板の整理を行い、梯子で降りたところ、バランスを崩し、転落した。	19	1	371	30 ～ 49
37	2013	6	2～3	生石灰の貯蔵タンク投入確認作業中、プーリーの側面から腕をくの字に曲げ、手袋をした手で付着したダストを取り除いた際、プーリーとベルトの間に皮手袋の指先が挟まり、腕が巻き込まれた。	26	7	129	30 ～ 49
38	2013	4	20～ 21	被災者は、中学校体育館でバスケットボールを行っていた。試合に参加していたところ（7分間試合を行い、7分休憩、その後7分間試合を行っていた）、倒れ、救急搬送された（被災者は発症前数ヶ月の間、長時間の時間外勤務を行っていた）。	29	90	921	100 ～ 299
39	2013	3	8～9	工場内窯脇通路を歩行中、レールに足が引っかかり、溝に足をとられ、足甲を負傷した。	64	2	417	10 ～ 29
			15～	片付作業中、スコップを片付けようとしゃがみ込み、スコップの				10

40	2013	1	16	柄を両手で掴み、急に立ち上がったところ、腰を痛めた。	58	19	921	～ 29
41	2012	11	15～ 16	荷降ろし作業場にて、煉瓦がスプロケットと安全カバーの間に挟まった為、一時停止ボタンを押さず、手を入れたところ、挟まれ、人差し指と中指を骨折した。	36	7	224	30 ～ 49
42	2012	11	14～ 15	駆動チェーンの緩みを調整し、試運転を行っていた際、異音が生じた為、チェーンの張りすぎかと思い、張りを確かめる為、回転中のチェーンに手を掛けたところ、負傷した。	25	7	169	50 ～ 99
43	2012	11	9～ 10	乗り継ぎベルトコンベアのヘッドプーリーのクリーナーに付着した堆積物を、電源を切らず、除去する為、直接手を入れ、ベルトコンベアとクリーナーの間に指4本を挟まれた。	60	7	224	10 ～ 29
44	2012	10	11～ 12	被災者は、吊荷を所定の位置に設置した際、吊りワイヤーをクレーンフックから外そうとしてワイヤーに手を掛け、更にクレーンのリモコンの「下」ボタンを押そうとしたが、誤って「上」ボタンを押してしまい、クレーンフックとワイヤーに親指の先端(爪の部分)を挟み、受傷した。	40	7	211	100 ～ 299
45	2012	8	9～ 10	送風機2台を送風機置場にチェーンで戻したところ、送風機がきちんと置けなかった為、ずらそうとして、下の台のところに足を掛け、動かそうとしたところ、4m程の所から転落した。	55	1	418	10 ～ 29
46	2012	7	10～ 11	工場仕上げ場にて、プレキャストブロックの仕上げ作業中、同僚がホイストクレーンでブロックを吊り上げていたところ、作業領域に近づきすぎた為、揺れ動いていたブロックが足に当たり、負傷した。	36	4	211	10 ～ 29
47	2012	7	9～ 10	加工場にて、ワークを加工機にセットした際、パレットからワークを持ち上げた際、腰に痛みが走った。	23	19	611	500 ～ 999
				現場を通過中、エア漏れの音がし、音の発生箇所を確認をしてい				

48	2012	2	9～ 10	た。当日は電気休日で工場は稼働しておらず、照明がついていなかったため暗かった事と、慣れない場所であったため、原料搬送用のピットに気付かず、左足を踏み外し、バランスを崩し転倒した。（深さ約90cmのピット）その際、体をかばい左側にあるH鋼に腕をつき、右ヒザを打撲、足首をひねった。	62	1	414	50 ～ 99
49	2012	1	10～ 11	混練場内にて、原料混練作業中、煉瓦原料の入った計量缶をホイストを用いてミキサー上部の投入ホッパーへ移動し、原料を投入する際、計量缶を投入ホッパー内の通常より低い位置に保持し、腕を投入ホッパー内に入れた状態で計量缶の投入口を開けた。原料が投入口から排出された際、計量缶が揺れて計量缶と投入ホッパーの間に腕を挟まれ負傷した。	25	7	611	50 ～ 99
50	2012	1	18～ 19	休憩後、製品梱包場へ戻るために歩行していた。梱包場入口の床面の段差部（約15mm）を足で踏んだ際、足首をひねり、捻挫した。	29	19	418	100 ～ 299
51	2011	10	19～ 20	冷蔵庫に瓶ビールを搬入している時、2段に重ねたケースの上段が崩れたので真っ直ぐにしようと1人で抱え上げた。客に呼ばれた気がして、その状態のまま後ろを振り返った時、踏ん張っていた左足がねじれ、左膝に違和感を持った。痛みが引かず7月に病院受診したところ半月板損傷と判明。手術、リハビリが必要となった。	27	19	921	500 ～ 999
52	2011	9	15～ 16	被災者は、現場から帰宅途中に業務連絡をする為に、事務所に向かっている際、道路の凹みに躓きバランスを崩し転倒し手を付いたところ、排水溝の鉄製の蓋に、右手人差し指と中指が入り強打し、転倒した為に、右示指蓋節骨開放骨折をした。	24	2	417	50 ～ 99
53	2011	8	15～ 16	スタンプ材製造の為、前準備2名の作業員にてコンベアー移動中、車輪移動、可動方向とは違う方向に上部を引っ張ったために転倒両足を挟まれた。右足関節外果骨折、右足裂創を負い、全治二週間の休養加療見込。	38	5	391	10 ～ 29



54	2011	8	16~ 17	工場で1 t → 25 kg 紙俵の小分け作業をするため、原料入りフレコン袋をチェーンブロックで吊り上げ、小分け設備の投入口に移動させた。フレコン袋の底口のヒモを解いて開こうとした所、フレコン袋を吊っていたベルトが切れて落下し、両手がフレコン袋と投入口に挟まった結果、左上腕を骨折した。	66	4	611	1~ 9
55	2011	7	11~ 12	当工場形成場で、自動の棚掛機が止まっているのを見て、異物が挟まっているのを取り除く際、自動を解除して手動にせず、そのまま自動棚掛機の中に入り、異物を取り除いたところ、自動棚掛機が動き出し、自動棚掛機のアーム部分に右下腿を挟まれ負傷した。	58	7	169	30 ~ 49
56	2011	4	9~ 10	工場内で運搬用のボックス（たたんだ状態の物を四つ重ね全部で約120 kgの物）をフォークリフトで移動させる作業をしていた時、フォークを下げた時ボックスの車輪がフォークのつめにひっかかっているのに気付かず、動かなかったのでボックスをはずしたところ、フォークが落ち右足親指の先をはさまれ受傷した。自分では足を引き抜くことができなかったので、近くの女子工員を呼んでフォークリフトを操作してもらった。	63	4	222	10 ~ 29
57	2010	11	9~ 10	耐火物粉碎工場において、煉瓦選別作業中に、ショベルでかきあげた煉瓦がころがりおちてきて、煉瓦を持っていた右手中指をはさまれ負傷した。	59	4	225	10 ~ 29
58	2010	11	10~ 11	円形煉瓦高さ1.5m直径5m仮組した煉瓦上部の点検のため、高さ80cmの箱段の2段目40cmの所で点検をおえて、後ろ向き、かかとから降りる時にバランスをくずし、ふくらはぎに強い力がかかり左ふくらはぎ肉ばなれする。	56	2	413	30 ~ 49
59	2010	7	11~ 12	当社工場の原土搬送ラインで混練機に土のかたまりが付着していた。機械を停止せずにスコップで取り除く作業を行った為、混練機にスコップが巻きこまれ左小指を骨折。	60	7	162	30 ~ 49
				A産業、B敷地内にてトラック積み荷。荷卸しの際。荷台のドア				10

60	2010	7	13~ 14	を開閉しようとしたとき、無人のリフトが（原因不明）突然前進し、トラック荷台とリフトに挟まれた。	60	6	222	~ 29
61	2010	2	10~ 11	本社工場内で作業中に成型機に不具合が生じたため、機器を止め一人で原因箇所の調整をしていたところ、誤って停止解除センサーに接触し再稼動させてしまい、プレスに前腕部を挟まれ骨折した。	32	7	154	10 ~ 29
62	2009	12	10~ 11	キュプラの集塵機の送風機が故障していると思われたので、会社の屋上で点検修理作業中、下で溶解作業をしており、送風機あたりで一酸化炭素を吸引したため、中毒により倒れた。	26	12	519	10 ~ 29
63	2009	11	14~ 15	工場内試験室に於いて、コンクリートの試験練り作業中、止めた小型ミキサーの清掃時に、誤って作動スイッチを膝で押したため、急作動した回転翼に右手を挟まれ、右肘を損傷した。	37	7	162	10 ~ 29
64	2009	10	15~ 16	リフター上の製品用木製パレット（900×100）の向きを変えようと手前に引張ったところ、思った以上にパレットが移動し、午前中に痛めた左足を庇っていた事もあり、バランス崩してパレットの角にて脇腹を強打し、骨折した。	49	2	222	50 ~ 99
65	2009	5	19~ 20	調合ミキサーにて、釉薬を調合している際に、ミキサー内の状態を見るために覗き込んだところ、バランスを崩して、とっさに攪拌用スクリューの根元部分を掴んだ。その際に、左手指が巻き込まれるような状態で負傷した。	33	7	162	500 ~ 999
66	2009	5	8~9	工場において、被災者が天井クレーン昇降階段手摺の錆落とし作業をしていたが、他の作業員が捏合機に原料を投入するため、クレーン（無線式、2t）操作をしており、クレーンから被災者が死角の位置にいたため、クレーンがそのまま走行し、クレーン（運転席）と安全柵の間に腹部を挟まれ負傷した。	55	7	211	1~ 9
67	2009	4	19~ 20	工場では、バリ取り装置の調整をするため、自動運転中の配合投入設備の稼動範囲に入り、足が配合投入設備とコンベアの間に挟ま	38	7	169	50 ~

				れ負傷した。				99
68	2009	1	17~ 18	恒温作業室でセット煉瓦（重量280kg、寸法直径577~277×616.5）のバリ取り作業をしている時に、セット煉瓦に少し傾きがあるのに気づき、底部の隙間をチェックした時、急にセット煉瓦が下がり、左手の3指を挟まれた。	35	8	523	10 ~ 29
69	2008	12	15~ 16	プレス機にて、上部プランジャーをハンマーで調整中、破片が飛び、手首に刺さった。	65	4	154	50 ~ 99
70	2008	12	11~ 12	プレス機の金型交換準備中、上型と上プランジャーを固定する穴がずれていたため、上プランジャーをホイストで吊上げ地切りし、微調整の為ハンマーで上型を軽く叩いたところ、ハンマーの一部が飛散して、左目に入った。	31	4	364	100 ~ 299
71	2008	12	14~ 15	集塵粉の排出が悪くなった為、ロータリーバルブの掃除を実施した。ロータリーバルブの回転を停止して排出口に左手を入れたところ、左手を引くのが遅れたため指を負傷した。（ロータリーバルブはタイマー式で30秒間隔で回転、停止を繰り返していた）	34	7	169	10 ~ 29
72	2008	11	11~ 12	レンガの打音検査後、左手に持っていたレンガを置こうとした際に、手からレンガが滑り落ちた為、左手で受けようとしたところ、パレット上のレンガとの間に左手指を挟まれた。	19	4	523	100 ~ 299
73	2008	6	11~ 12	金型枠替作業中、クレーンで吊った芯棒を金型内に挿入していたが、芯棒が引っ掛かり、入りにくかったため、吊りチェーンを緩めた状態で芯棒を握り左右にゆすった。その際、芯棒が挿入されて上面板と金型の間で左手首を挟まれ被災した。	41	7	169	100 ~ 299
74	2008	5	19~ 20	フレコンバック入りの生石灰を製品ホッパーに戻す作業に従事していた。空になったフレコンバックを整理していたところ、両手が熱くなった感じがした。	24	12	519	10 ~ 29
				担体成形用真空土練機の冷却水用ホースが1本破損したため結束				

75	2008	4	14～ 15	していたインシュロックタイを切断した。左手の指でインシュロックタイで結束したホースの下部側を持ち上げ、右手でカッターナイフを持ち切断しようとしてカッターナイフを移動した際、勢い余って左手の指を負傷した。	55	8	364	30 ～ 49
76	2008	3	13～ 14	自社工場内に於いて、バラ原料搬入時にダンプトラックの後部扉上部内側の構造に追加部品があるのに気付かず、扉上部に両手をかけたまま足で押して扉を閉め、扉と追加部品の間に両手指を挟んだ。	61	7	221	不 明
77	2008	3	9～ 10	作業所内にてセラミック製品の製造作業中、ミキサーにて混合されたセメントを取り出す際、出口に付着していたセメントを除去しようとして手でかき出していたところ、誤って機械の攪拌羽根に触れてしまい右手を負傷した。	35	8	169	1～ 9
78	2008	1	15～ 16	架台への階段取り外し作業場で、手摺切断後、階段をそのまま降りようとしてバランスを崩し、一時、架台と手摺につかまるが、耐え切れず、下へ落下。その際に気を失う。気を失っていた最中、ガストーチから火が出ていて、それが足にあたり負傷した。	58	1	413	100 ～ 299
79	2007	10	16～ 17	工場のキルンのバーナー口の清掃中に、体のバランスを崩し、足を踏み外し、階段2段目から踊り場に落下し、踊り場の囲いのガードフェンス（角型鉄製）に腰を強打して負傷した。	61	1	391	1～ 9
80	2007	10	15～ 16	被災者は本社製品場で24kgのれんがの選別を行っていた。そのれんがを所定のパレットに積むため、足を踏み出したところ、床面に置いてあったれんがに足を引っかけた。その時持っていた24kgのれんがが足指の上に落ちてしまい、負傷した。	59	4	529	50 ～ 99
81	2007	9	11～ 12	金型工場にてトラックの荷台に金型を積込み作業中、荷台中央部へ載置しようとして、ホイストクレーンの滑車部分を誤って押し、ワイヤーロープと滑車部分に指を挟み、負傷した。	49	7	211	30 ～ 49
			13～	煉瓦の製品検査作業を行っていた時に、煉瓦が十分に冷めきっていない状態で持ち運んだために、手を負傷した(作業時にはゴム手				50

82	2007	9	14	袋を着用して作業を行っていた。煉瓦のサイズ55cm×25cm×10cm、重量15kg、製品温度は50～60℃)。	25	11	529	～ 99
83	2007	9	8～9	会社工場内にて、ハトを駆除するために、屋根と壁の隙間を塞ぐ作業をしている最中に、乗っていた梯子がずれて、5.4mの高さから落下しそうになったので、自分から飛び降りて、負傷した。	22	3	371	～ 29
84	2007	7	17～ 18	工場内の450tプレスの枠替作業時に、金枠を枠台車にセットする際、枠台車に接触して、金枠が傾き、金枠上に置いていた下面ディスタンスシューが右手に落下して、負傷した。	39	4	379	10 ～ 29
85	2007	6	16～ 17	工務店作業場で柱の穴掘り作業中、穴掘機の刃先で指を挟まれ負傷した。	58	7	139	1～ 9
86	2007	1	15～ 16	AG工場、加工職場で、吐出孔加工機下の目地詰め作業を行う予定であったが、設備が稼働しているため、安全上問題のない設備周辺の清掃を行い、清掃が完了したため、本来設備を休転させてから行う作業を、休転させずに目地詰め作業を開始した。無意識に左手を吐出孔加工機の加工台稼働部に置き、右手で目地詰め作業を行った。稼働中の加工機が、加工完了後原点位置復帰中に、原点確認マークと加工台の位置あわせ部に置いていた手の指を挟んだ。(加工台移動スピードは極めて遅いが、駆動源がサーボモーターのため、駆動力は強い)	48	7	169	300 ～ 499
87	2006	12	13～ 14	パウダー製品を作るため2人で原料を混合機に投入作業中、突然引火爆発を起し負傷した。	34	14	162	30 ～ 49
88	2006	11	16～ 17	工場(V炉窯詰め場)内のブリーズ吸引装置のホースが熱変形したので交換しようと、台車の上隅に乗り、ホース取付部(台車から2m上)のボルト類を交換しようとしたところ、バランスが崩れ、転落した。	50	1	419	30 ～ 49
			13～	研磨機にワークをセットする際のワーク反転作業中、体の一部を				100

89	2006	10	14	負傷した。	37	19	611	～ 299
90	2006	9	16～ 17	成形場で成形プレス後のレンガを台車に積替える作業で、レンガ（11.7kg）を台車に置くときに、急に力が入らなくなった。	59	19	521	50 ～ 99
91	2006	7	13～ 14	断熱材加工職場で、コンパックボーリングマシンを使って、加工物のゼロ点調整作業を実施していた。この設備は3軸の主軸が装備されており、奥からNo.1軸No.2軸No.3軸となっている。No.1軸を調整中に、誤ってNo.2軸の作動ボタンを押してしまい、No.2軸に付いていた刃物が体の一部に接触し負傷した。	25	7	169	100 ～ 299
92	2006	6	10～ 11	プラットー（充電式1.5トンフォークリフト）をバックで端の充電場所に戻そうとした時に、通常通り徐行減速したが、路面が濡れていて、タイヤがスリップして柱に当たりそうになったので、無意識に体の一部を出してしまい、プラットーと柱の間に挟まれた。	32	3	222	100 ～ 299
93	2006	6	17～ 18	工場内窯（トンネルキルン）入口部にて、故障のため、ワイヤーを使って焼成台車を引っばる作業をしていた。その際、台車が動く床のレール部と移動中のトラバーサー（台車を乗せて動く床状の台）との間に体の一部を挟まれ、負傷した。	51	7	229	50 ～ 99
94	2006	5	12～ 13	作業場で鉄の溶解作業をしている時に、溶解した鉄の湯が飛んできて、体の一部を負傷した。	34	11	519	10 ～ 29
95	2006	3	8～9	工場出荷・製品検査の作業中に台車の隙間の部分に足をふみはずした。その際、ふみはずしていない片足のひざが台車もしくはレールの角に接触し負傷した。	57	3	224	30 ～ 49
96	2006	2	9～ 10	梱包製品の見出しを確認に行き、2m位の高さから梱包製品高さ60cm位の上へ下りたところ、足がふらつき頭部を打ち負傷した。	58	3	921	50 ～ 99

97	2006	1	9～ 10	工場内において、仕上げ機でレンガを加工中、レンガを押さえていた右手指が仕上げ機のセンターホイールに接触負傷した。	53	3	169	10 ～ 29
98	2006	1	15～ 16	焼成の場所で乾燥品を焼成台車に積む作業をしている時に、乾燥品を見に行くために空き台車の間を抜けて行こうとして、乾燥台車の桁に足を掛けて行こうとした時に足を踏みはずして背中を強打し負傷した。	50	2	417	30 ～ 49
99	2006	1	11～ 12	タイル不良品処分品置場において、処分品をおろす作業中、パレットに積んであった製品（レンガタイル：約4kg）が崩れた。リフトにて処分置場に持って行き、ラップをはずして捨てている最中に、パレットに積んであった一部のレンガが落下して負傷した。	41	5	529	50 ～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。